



## 三宅島郷土資料館について

三宅島郷土資料館は、皆さんに三宅島の文化と自然をより身近に感じていただくため、廃校になった阿古小学校を改修し、平成20年4月23日に開館しました。  
今後、皆さんが参加しやすい講座や行事を開催し、皆さんとともに資料館の充実を目指します。

### 主な活動と展示内容

- 郷土の歴史民族資料を保存展示します。
- 郷土文化の発掘や伝承に努めます。
- 様々なテーマで調査・研究を行います。
- 住民の方々の協力で地域の資料、情報を集め、整理、保存に努めます。
- 調査成果、収集資料をもとに企画展や講演会、各種講座等を開催します。
- 島の歴史文化活動の拠点として、三宅島の魅力を発信します。
- 島外との文化交流を推進します。

## 三宅島出身の著名人



三宅島郷土資料館内の銅像

浅沼稻次郎（1898～1960）先生は三宅島出身の著名な政治家です。労働運動に活躍し、昭和35年に日本社会党の委員長に就任されました。同年10月、日比谷公会堂において立会演説中に右翼少年に襲われ貴い生涯を終えました。

## 1階 常設展示 「富賀神社の巡り神輿」



三宅島で2年に1度、8月に実施される「富賀神社の巡り神輿（東京都指定無形民俗文化財）」で使用された神輿を展示しています。また、実施された様子も動画で見ることが出来ます。

### 行事案内

- 古文書講座（年2回） ■ クラフト教室（年2回）
- 企画展（不定期）

郷土資料館では常設展示の他、年数回の企画展等を開催しています。また、地域の自然・文化についての学習講座、講演会などの開催を予定しています。企画展等の日程などについては、「広報みやげ」、「三宅村ホームページ」をご覧ください。

### 利用案内

- 入館料 一般200円、団体（15名以上）160円/人 ※中学生以下、65歳以上無料
- 開館時間 午前10時から午後5時まで
- 休館日 毎週水曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

### アクセス

- 船 東京・竹芝桟橋⇄三宅島  
所要時間：約6時間30分（1日1便）  
東海汽船（株） ☎03-5472-9999
- 飛行機 東京・調布飛行場⇄三宅島  
所要時間：約45分（1日3便）  
新中央航空（株） ☎0422-31-4191
- 島内交通 村営バスで「阿古」下車 徒歩2分

### 三宅村教育委員会

〒100-1212 東京都三宅島三宅村阿古497番地  
☎04994-5-0952 FAX 04994-5-0933  
三宅島郷土資料館 ☎04994-5-1454  
三宅村立図書館 ☎04994-5-1453

# 三宅島郷土資料館



三宅島かよ  
緑の島か  
小鳥さえずる  
唄の島（島節より）



三宅島全景（気象庁三宅島火山防災連絡事務所）

展示室 1 三宅島のあけぼの

縄文時代～弥生時代



オオツノハ貝輪

東京から南へ約180km離れた火山島の三宅島には、いつ頃から人々が暮らしていたのでしょうか？縄文時代等の遺跡から発掘された品々を展示しています。



奈良三彩  
(富賀小浜遺跡)

展示室 2 三宅島の神社と信仰

平安時代～安土桃山時代

銅鏡 (鎌倉時代)



伊豆諸島の24の式内社のうち12社が三宅島にあります。伊豆諸島随一の量を誇る銅鏡や島独自の信仰「積石遺構」等を展示しています。



物見処遺跡

展示室 3 流人文化

江戸時代



江戸時代のヨト船 (模型)



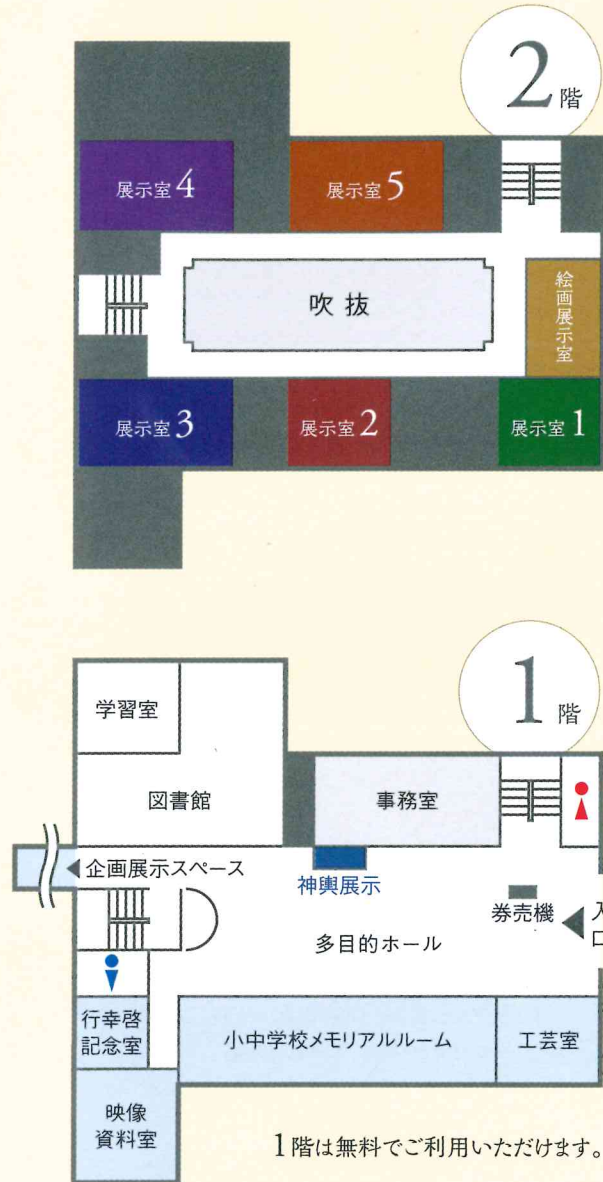
生島新五郎の墓 (伊ヶ谷)



小金井小次郎 (画)

館内案内

Floor Map



展示室 4 黒潮の恵み

明治時代～昭和時代

明治から昭和にかけて、島は黒潮の恵みで産業が大きく発展しました。農漁業の道具等を展示しています。



農機具 (戦後)

展示室 5 火山の歴史

見どころ リアルタイムで配信される火口映像

2000年の噴火災害を中心に現在の三宅島を紹介しています。



雄山火口映像 (気象庁三宅島火山防災連絡事務所)

絵画展示室

三宅島出身で名譽村民の「平松 讓」画伯の絵画12点を常設展示しています。



「明けゆく磯 (2007年)」